2026年9月 （株）三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上確報

三越伊勢丹ホールディングス

2026年10月15日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしましたが、売上速報・確報で開示する国内百貨店事業の売上高につきましては、従来の総額売上高を使用いたします。

国内百貨店事業 売上

（単位 %）

（株）三越伊勢丹	百貨店売上高		個客業扱い高＊	
	前年比	累計	前年比	累計
伊勢丹新宿本店	110.7	110.1	110.7	110.1
三越日本橋本店	110.4	108.7	109.9	108.4
三越銀座店	119.9	108.3	117.3	107.2
伊勢丹立川店	92.8	96.1	95.3	98.8
伊勢丹浦和店	98.7	98.3	101.0	101.9
（株）三越伊勢丹計	110.8	108.4		

地域百貨店事業会社	百貨店売上高		個客業扱い高＊	
	前年比	累計	前年比	累計
札幌丸井三越	105.5	101.1	106.7	102.3
函館丸井今井	89.9	96.1	93.9	97.9
仙台三越	94.5	98.0	97.9	99.2
新潟三越伊勢丹	100.9	100.8	104.1	101.7
静岡伊勢丹	97.7	100.2	98.0	100.8
名古屋三越	100.0	97.7	102.4	100.6
広島三越	93.3	96.8	100.2	101.0
高松三越	96.4	92.9	102.5	96.0
松山三越	90.0	88.2	100.1	99.9
岩田屋三越	107.0	106.6	107.8	107.3
地域百貨店 計	102.5	101.4		

	百貨店売上高	
	前年比	累計
国内百貨店計	108.3	106.2

＊【個客業扱い高】： 百貨店売上高 ＋ 百貨店内テナント扱い高 ＋ 拠点ネットワーク送客高

9月概況

国内顧客売上高・海外顧客売上高ともに堅調に推移。集客施策が奏功し、顧客創造も順調。

〇（株）三越伊勢丹が110.8%、国内百貨店計では108.3%と好調を継続。首都圏の伊勢丹新宿本店や三越日本橋本店、銀座店は大幅伸長。

〇特に繋がりの深い顧客に向けた特別なイベントである、丹青会と逸品会が前年度対比で大きく伸長。外商を中心とした"ひとの力"と、アプリ、カードを通じたデータ活用で、識別顧客との関係がより深くなり、外部環境に左右されない安定的な売上高成長に繋がっている。

〇海外顧客売上高は前年比136%と大きく伸長。高い客単価を維持しながら、買上客数についても前年を上回った。今後購買データに基づくリコメンドが可能になる海外顧客向けアプリや、海外顧客向けの外商サービスによって、国内顧客同様、より安定した成長が見込める状態を目指す。

10月足元概況

首都圏百貨店、地域百貨店共に識別顧客売上が牽引し堅調。集客イベントや顧客との関係性を深めるイベントがそれぞれ好調

〇14日までの実績は（株）三越伊勢丹（首都圏百貨店）が前年比108.7%、地域百貨店が108.5%、国内百貨店計では108.6%となった。

〇首都圏百貨店では集客や利用拡大が引き続き順調に進捗しており、コミュニティを捉える施策として伊勢丹新宿本店で開催した香水イベントであるサロンドパルファンは計画を超える実績。地域百貨店では、岩田屋三越が繋がりの深い顧客向けイベント「逸品會」を実施。周辺の地域百貨店からの顧客連携もあり、岩田屋本店として単日の過去最高売上を記録した。地域百貨店における顧客との関係性も順調に深化している。

〇海外顧客売上高についても、9月に比べ前年ハードルが高まる中、2桁の伸長を継続。引き続き、宝飾時計などを中心に高付加価値商品の売上が好調に推移。客単価が牽引する構造は継続しているが、購買客数についても前年を大きく上回って推移した。

お問い合わせ先
【広報担当】ＴＥＬ：０５０－１７０４－０６８４
【ＩＲ担当】ＴＥＬ：０５０－１７０４－０６８８
【個人株主の方はこちら】ＴＥＬ：０１２０－２３０－０５１
木曜・日曜・大晦日・元日を除く１０時～１８時